

中田かわら版 2月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■ この人に会いたい<30>

青指活動 23 年
愚直に歩む

國分 満義さん(62 歳) 葛野町内会



ダイビング、ラグビー、ドライブ、カメラが好きでパソコンも得意。学生時代はプラスバンド部、放送機器の扱いもなれたもの。多趣味多才な國分さんは葛野町内会にお住まい。

昭和 29 年 9 月 16 日山形県生まれ。少年期は出羽三山の一つ、羽黒山の麓の山伏と宿坊の町（手向地区）で過ごす。思い出深いのは、羽黒山頂までの階段 2446 段を数えきれないほど昇り降りしたこと。

昭和 48 年 3 月、乗用車・トラック・バスも製造販売していた三菱自動車工業株式会社のトラック・バス事業部門（実験・研究）に配属、約 27 年間トラック・バスのコンポーネントの研究開発に没頭する。平成 13 年、営業技術部門に異動し、全国の販売会社や大手ユーザーへの技術的支援業務を担当。その後、トラック・バス事業部門が分社して三菱ふそうトラック・バス株式会社となり平成 16 年 4 月に精算部門へ移動。新しい商品を世に出すロンチングという業種に関わり現在も勤務している。

一方、平成 6 年 4 月に横浜市より青少年指導員（以下、青指）の委嘱を受ける。（同年 8 月には 3 番目のお嬢さんが誕生）当時から数多くのイベントがあり、当初はなにをやっているのかがよく分からず仁王立ちの状態だったが、先輩方の活動を 1 年間観察し、次第に特設指示されなくても動けるようになったと回顧する。

また、初めて委嘱を受けた当時の青指は、「発明クラブ」「指導育成委員会」「研修委員会」「活動委員会」「文化委員会」の 5 グループで構成され、自身は「指導育成委員会」に所属して月に 2 回ほど中田コミュニティハウスで、小中学生と地域に伝わる紙芝居や人形劇の練習をしたとのこと。たまにはその練習の成果を、各ハマっ子や老人ホーム等で発表させて頂いたこと。その他、発明クラブの手伝いや他の委員会のイベントの下見の運転手として、自分のワゴン車を運転しては重宝がられることも多かった。



合唱の指揮をとる國分さん

当時、國分さんを推薦した町会長さんは、とにかく 1 年だけ青指を引き受けてほしいということだったそうですが、1 年という任期はなく、1 期 2 年ということの後で知ったそうです。特に断る理由もなかったので 1 期が 2 期、3 期・・・とつづき、振り返ると 23 年目になっていたと笑っていました。

最後に國分さんは、次のように話されました。「この数年私たちの生活が大きく変化してきている。ラインやツイッターなど便利なツールが普及したことでネット犯罪が多くなった。乳幼児の虐待、そして少しずつ変化を見せながら止まないいじめ等がマスコミを賑わすネタとして多く発生している。今後どうなっていくか分かりませんが、青指ができることは何なのか。他の団体と連携して協力すれば何ができるのか。地球が求める活動にみんなが参画して子どもも大人も住みよい町作りに協力することではないのか。それがみんなが幸せになる近道だと信じる。少なくとも、私自身は信じた道を愚直に歩みたいと思っています。」

（編集委員 山木重樹）

～一人ひとりが CO₂ を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

3月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【寸劇フェスティバル】 - 観覧無料 -

日時：3月5日(日) 13:00~ (12:30 開場)

場所：泉区民文化センター テアトルフォンテ

中田・しらゆり子育てネットにて、地域の子育て支援者のみなさん、親子サークルさんなどが出演します！

【中田コミュニティハウスまつり】



日時：2月25日(土) 10:00~16:00

26日(日) 10:00~14:30

場所：中田コミュニティハウス

【さくらまつり】

日時：平成29年3月26日(日)

10:00~15:00

場所：中田小学校
グラウンド

主催：中田小学校
同窓会



■平成29年

中田連合自治会賀詞交歓会

1月8日、賀詞交歓会がJ Aみなみ総合センターで行われた。自治会、町内会。各種団体の関係者、区役所、消防、泉警察などおよそ400人が集い、新年を祝った。毎年、年頭のあいさつで連合自治会の望月榮会長の話は、今年1年の方向を占う貴重な話が多く注目を集める。今年もいい話だった。片手にA4版の厚さ4センチほどの書類の綴じ込みを持って登場、みんなに「何か重要なものらしい」の期待感が。会長の説明によると、これは中田にある小・中6校が発行している「学校だより」昨年1年分の資料だということが分かった。例によって開口一番「今年は皇紀2677年、あけましておめでとうございます」。で始まった。今回、話をされた話の内容の要旨。

○昨年の暮れの12月25日~30日まで、地元の消防団、交通安全協会の人たちが中田の安全を守るため日夜、パトロールしてくれたお陰で、住民は安全に新年を迎えることができた。

○(先ほどの書類を掲げながら)「学校だより」は校長先生はじめ多くの方が書いているが内容が素晴らしい。日本には「芥川賞」という賞があるが、私なら「学校だより」に上げたいくらいの気持ちだ。

○中田小学校のマーチングバンドが昨年も金賞(通算11回目)をとった。素晴らしいことだ。ある地区では太鼓の音がうるさいとか、除夜の鐘がうるさい、子供の声がうるさいなどと言っている。中田にはそんな人は一人もいない。住

民の方々の温かい協力があつての賞である。

○中田には先人たちが努力して築き上げてきた素晴らしい行事がある。新春健康マラソン、大運動会、サマーフェスティバル、文化祭、さくらまつり、神輿、山車、中田囃子など他に誇れる伝統行事がある。これらを維持、発展させていかなければ、先人に顔向けできない。こういう行事はぜひ残して行きたい。

○中田には1つの寺(中田寺)と1つの神社(御霊神社)がある。正月にはこの2つ見ながら新年を迎えられることの幸せを感じる。ありがとうございました(終)。◆1月15日は第40回中田新春健康マラソン大会が盛大に行われた。この1年もまた、素晴らしい町「中田」でお互い明るく元気で活躍したい。
(宮田貞夫)

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！